

国立国語研究所テニュアトラック実施要項

令和2年10月19日
所 長 裁 定

(趣旨)

第1条 この要項は、「大学共同利用機関法人人間文化研究機構テニュアトラック制に関する規程」(以下「テニュアトラック規程」という。)に基づき、国立国語研究所(以下「研究所」という。)における研究教育職員のテニュアトラック制の実施に関して必要な事項を定めるものとする。

(期間)

第2条 テニュアトラック期間は、原則、5年とし、3年目に中間評価を、5年目に最終審査をそれぞれおこなうものとする。ただし、当該期間中であっても優秀な評価を得て適格と認めた場合は、テニュアを付与することができる。

(審査)

第3条 テニュア取得のための審査(以下「テニュア審査」という。)は、「国立国語研究所人事委員会規程」及び「国立国語研究所における教授及び准教授候補者内部選考内規」に基づき、人事委員会の議を経て、運営会議で行う。

(審査手続)

第4条 テニュア審査の手続きに関しては次のとおり取り扱うものとする。

- 1 テニュアトラック教員は、任期の終期が到達する12か月前までに、テニュア申請書(別紙様式1)にテニュア審査に必要な書類を添えて、所長へ提出するものとする。
- 2 テニュア審査に必要な書類は以下のとおりとする。
 - (1) 研究者略歴(別紙様式2)
 - (2) 研究業績書(別紙様式3)
 - (3) 主要業績(任期中の成果について)(別紙様式4)
 - (4) テニュア取得後の研究課題及び共同研究(別紙様式5)
 - (5) 主要業績の別刷またはコピー(5点以内、各2部)
- 3 所長は、テニュアトラック教員からの申請を受理した時は、その旨を運営会議に提議する。
- 4 運営会議は、テニュア審査のため、「国立国語研究所運営会議に置かれる専門委員会規程」に基づき、人事委員会を設置するものとする。
- 5 人事委員会は、テニュア取得の可否を審査し、その結果を運営会議に報告する。
- 6 運営会議は、人事委員会の報告に基づき、テニュア候補者について、テニュア付与の可否を決定する。
- 7 所長は、運営会議の審査結果について機構長に報告するとともに、すみやかにテニュアトラック教員に通知するものとする。

(審査基準)

第5条 前条のテニユア審査については、次の各号に掲げる基準を観点とし、総合的に評価する。

- (1) テニユアトラック期間中の研究業績
著書・論文の数及び内容、国内外会議での発表実績等
- (2) 研究所の事業・企画への貢献
研究所の共同研究への参加、各種セミナー・シンポジウム等の企画・推進等
- (3) 外部からの評価
科学研究費補助金などの外部資金の獲得状況、受賞歴等
- (4) 将来展望
テニユアトラック期間の実績を踏まえて、今後の研究所の発展のため、どのような貢献ができるか等
- (5) その他特筆すべき事項
社会貢献に関わる活動、広報活動等

(中間評価)

第6条 中間評価は、人事委員会が行う。

- 2 評価に必要な書類は、第4条第2項に準ずるものとする。
- 3 テニユアトラック教員は、採用日から2年6ヶ月が経過する時点までに、所長へ前項の書類を提出するものとする。

(不服申立)

第7条 所長は、テニユアトラック規程第8条第1項による不服申立てを受けたときは、テニユア再審査委員会（以下「再審査委員会」という。）を設置する。

- 2 再審査委員会の構成員は研究所の教授2名、准教授1名の3名とし、所長が指名する。ただし、人事小委員会の委員及び同専門委員を指名してはならない。
- 3 再審査委員会には委員長を置き、所長が指名する。
- 4 委員長は再審査委員会を招集し、その議長となる。
- 5 再審査は、テニユア審査に準じて行う。
- 6 再再審査は行わない。

(雑則)

第8条 この申合せに定めるもののほか、テニユア審査手続きに関し必要な事項は、人事委員会が別に定める。

附 則

この要項は、令和2年10月19日から施行する。

テニユア申請書

令和 年 月 日

国立国語研究所長 殿

申請者

ふりがな
氏名

印

私こと テニユア申請をしたく、必要書類を添えて申請いたします。

記

1 専門分野

2 添付書類

- | | |
|-----------------------------|----|
| (1) 研究者略歴(様式第2号) | 1通 |
| (2) 研究業績書(様式第3号) | 1通 |
| (3) 主要業績一覧(様式第4号) | 1通 |
| (4) 研究内容等(様式第5号) | 1通 |
| (5) 主要業績の別刷またはコピー(5点以内、各2部) | |
| 計 | 編 |
| (内訳) 著書 | 編 |
| 論文 | 編 |
| その他 | 編 |

研究者略歴

ふりがな				写 真 申請時より 3 カ月以内に撮影した上半身の写真を貼付すること (4 cm × 3 cm)	
氏 名					
生年月日	年	月	日生 (満 歳)		男 ・ 女
電話番号	E-MAIL				
ふりがな					
現住所〒					
電話: () — E-MAIL :					
ふりがな					
連絡先〒 (現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入)					
電話: () — E-MAIL :					
所属機関					
機関名					
所在地					
職 名					
年	月	年	月	学 歴 (大学卒から) (入学年月及び修了等年月を記載すること)	
年	月	学 位 (博士) 【審査中を含む】			
年	月	職 歴 (日本学術振興会 PD や非常勤講師等を含む)			

記入上の注意 1: 数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に。 年号はすべて西暦で記入。

2: 書ききれない場合は、適宜、行を増やしていただいて構いません。

年	月	職 歴 (前頁から続く)
年	月	社 会 活 動 歴 (学会役員等)
年	月	競争的資金の獲得 (代表者となったもので、資金の種別、研究課題及び研究分担者数を含む)
年	月	受 賞 歴

その他 (特記すべき事項がありましたら記入してください)	

年 月 日
以上の通り相違ありません。

署 名 (自署)

_____ ㊟

研究業績書

A4 またはレターサイズの内紙を使って、下記の要領で作成してください。

1. 研究業績を下記の①～⑧の項目別にすべて記載してください。記入の際は現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、項目別に通し番号をつけて記入してください。これから刊行されるものについては刊行（採用）が決定しているものに限りません。別紙「主要業績一覧」に記載したものも含めてください。発行年月や書名（論文名）等の各記載事項が記載されていれば、記載事項の順序を入れ替えてもかまいません。

① 博士論文

—授与年月，論文名，学位名，授与大学院。

② 著書〔表紙に氏名が記載されている研究書・概説書。語学教科書は除く。〕

—発行年月，書名，単著／共著の別，出版地，出版社，最初と最後の頁（共著の場合は担当頁、単著の場合には総頁数）。

③ 著書分担執筆〔表紙に氏名が出ていないが特定箇所を執筆した書物・論文集。なお、査読付の場合には「編者名・書名」の最後に★を付すこと。〕

—発行年月，編者名・書名，担当箇所の表題、最初と最後の頁，単著／共著の別，出版地，出版社，自分の役割（共著の場合）。

④ 編書・編著書

—発行年月，書名，単編／共編の別，出版地，出版社，編者としての役割（共編（著）の場合は自分の役割）。

⑤ 査読付き論文〔学協会誌，海外の専門誌，国際会議の「プロシーディングス」などに掲載された論文〕

—発行年月，論文名，単著／共著の別，掲載誌（学協会名，出版社名），巻・号，最初と最後の頁，自分の役割（共著の場合）。

⑥ 査読なし論文〔大学や研究所の紀要，商業誌，国際会議の「プロシーディングス」など。国内学会の大会発表予稿集は含めない。研究ノート，書評論文，調査報告などの場合は，その旨を明記〕

—発行年月，論文名，単著／共著の別，掲載誌（学協会名，出版社名），巻・号，最初と最後の頁，自分の役割（共著の場合）。

- ⑦ **上記に含まれない学術業績**〔辞書，資料集，データベース，コーパス，ソフトウェア，特許など。※ユーザー数，ダウンロード数等が判明している場合は記入すること。〕
—発行年数，業績名，単編／共編の別，発行所，自分の役割（共著の場合）。
- ⑧ **招待講演・基調講演**〔国内外の国際会議あるいは全国規模学会のみ。口頭発表は含まない。〕
—年月日，講演タイトル，会議・学会名，開催地

2. 注意事項

- ・冒頭に氏名と本研究業績書の作成年月日を記す。
- ・共著（共編）の場合には，表紙または目次に記載された順にすべての著者（編者）名を明記し，自分の名前に下線を引く。
- ・次のものは審査対象外となるので記入しない。
 - 外部資金（科学研究費補助金等）による研究報告書
 - 国内学会予稿集
 - 書評，紹介
 - 解説
 - 翻訳
 - 学界展望
 - 語学教科書
- ・論文，著書等が印刷中である場合には，掲載または出版が確定していることを示す書類(E-mail も可)を添付。

主要業績一覧

テニュア期間中に行った著書や論文などの主要業績 5 点（以内）を挙げ、その概要をそれぞれ 300 字程度にまとめてください。業績名の記載方法は別紙「研究業績書」を参照してください。

業績 1

業績名：

概要（300 字程度）：

業績 2

業績名：

概要（300 字程度）：

業績 3

業績名：

概要（300 字程度）：

業績 4

業績名：

概要（300 字程度）：

業績 5

業績名：

概要（300 字程度）：

氏名

テニユア取得後の研究課題及び共同研究

年 月 日
年号はすべて西暦

配 属 先	
-------	--

これまでの研究 内容 (300 字程度)	
テニユア取得後の 個人の研究課題 (300 字程度)	新しい配属先における個人研究の課題とその展望について記述してください。
テニユア取得後の 研究課題共同研究 (800 字程度)	全国規模の共同研究を推進することについての見通しと抱負について記述してください。

※書ききれない場合は、適宜、欄を拡大していただいて構いません。